

地域の要望により新規就農者との地域密着型の意見交換会を開催

長年繋がりのある地域のコアパーソンからの提案によって立ち上がった新規就農者同士の地域密着型の意見交換会を、地域の要望により3年連続で開催。〔令和7年1月24日開催〕

○ 施策分類

担い手

○ きっかけ・背景、課題の把握

当拠点では、多くの新規就農者と、就農の経緯、苦労、現状の課題、将来の抱負等について意見交換を重ねてきた。その中で、他地域から移住してきた新規就農者は、営農や生活の相談を行う相手が少ないことから、孤立して早期に離農するケースもあるとの意見があり、新規就農者の定着に向けた新たな課題が明らかとなった。

○ 取組の内容

地域のコアパーソンからの新規就農者同士のネットワークづくりの提案を受け、令和4年度に初開催し、令和5年度には規模を拡大して開催。令和6年度も参加者の一部を入れ替えて開催した。

意見交換会では、ネットワークの在り方について、参加者全員からの意向を確認しつつ、行政側からは、参加する新規就農者による積極的な運営が重要であることを提案したところ、活発な意見交換がなされた。

○ 効果・成果、今後の方向性

懸念されていた新規就農者の孤立については、JA青年部や4Hクラブが補完機能になっていることが確認できた。また、今後のネットワーク作りについては、新規就農者による自主性を持った活動とすること、新規就農した者へ声掛けを強化すること、活動範囲を市町単位とし、地域に密着したネットワークとすることなど、運営の方向性が見えてきたことは、大きな成果となった。なお、この取組が継続的な取組となるよう当拠点は、側面的な協力を行っていくこととしている。

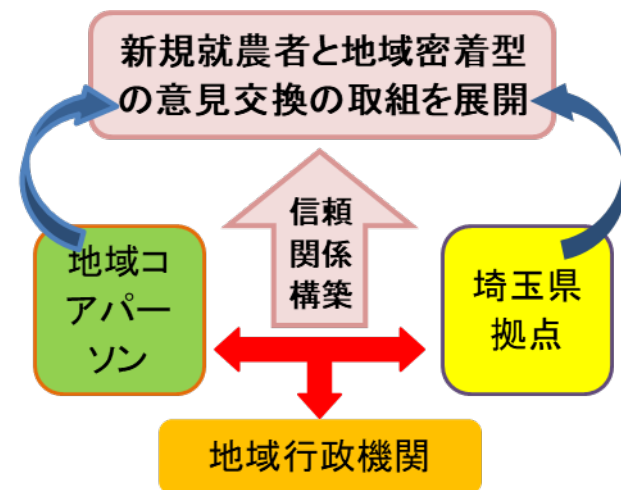


筒浦地方参事官との意見交換



参加者同士の意見交換

体制図



継続的に情報提供・意見交換を実施